

## STEP 2. フィールドコードを編集しましょう

### 1. フィールドコードを変更しましょう

1 短い西暦の日付の上で右クリックします。

2 「フィールドコードの表示/非表示」をクリックします。

日付の書式	
短い西暦	5/7
長い西暦	5/7
短い和暦	5/7
長い和暦	5/7

フィールドコードが表示されました。

日付の書式	
短い西暦	{ MERGEFIELD 短い西暦 }
長い西暦	5/7/1970
短い和暦	5/7/1970
長い和暦	5/7/1970

{ MERGEFIELD 短い西暦 }

というのは「差し込みフィールドの短い西暦をここに挿入します。」という意味のフィールドコードです。

3 フィールド名の後ろのスペースに続けて半角で「¥@」と入力します。

短い西暦	MERGEFIELD 短い西暦 ¥@
長い西暦	5/7/1970
短い和暦	5/7/1970
長い和暦	5/7/1970

¥@

は日付や時刻の表示形式を設定するためのスイッチです。

4 続けて半角で「"yyyy/M/d"」と入力します。

日付の書式

短い西暦	MERGEFIELD 短い西暦 ¥@"yyyy/M/d"
長い西暦	5/7/1970
短い和暦	5/7/1970
長い和暦	5/7/1970

"yyyy/M/d"

は日付を 1970/5/7 の形で表示するための文字列です。今回の例の場合はダブルクォーテーション (") で囲む必要はないのですが、表示形式の途中に半角スペースがある場合などはダブルクォーテーション (") で囲む必要があります。

また、月を表す **M** は大文字なので注意してください。

日付の書式

短い西暦	ME
長い西暦	5/7/1
短い和暦	5/7/1
長い和暦	5/7/1

5 フィールドコードの上で右クリックします。

6 「フィールド更新」をクリックします。

メニューの検索

- 切り取り(I)
- コピー(C)
- 貼り付けのオプション:
- フィールド更新(U)**
- フィールドの編集(E)...
- フィールドコードの表示/非表示...
- A フォント(E)...
- 段落(P)...
- 記号と特殊文字(S)

日付の書式

短い西暦	1970/5/7
長い西暦	5/7/1970
短い和暦	5/7/1970
長い和暦	5/7/1970

日付の表示形式が変わりました。

## 参考 日付/時刻の表示形式

スイッチ (¥@)

書式記号	表示形式	表示例
yyyy	西暦の年を 4 桁で表示	1970
yy	西暦の年の下 2 桁を表示	70
ggge	年を元号で表示	昭和 45
ge	年を省略した元号で表示	S45
MMMM	月の名を英語で表示	September
MMM	月の名を英語の省略形で表示	Sep
MM	1 桁の月の前に 0 を付けて 2 桁で表示	09
M	1 桁の月の前に 0 を付けずに表示	9
dddd	曜日を英語で表示	Thursday
ddd	曜日を英語の省略形で表示	Thu
dd	1 桁の日の前に 0 を付けて 2 桁で表示	07
d	1 桁の日の前に 0 を付けずに表示	7
aaa	曜日を 1 文字の日本語で表示	木
hh	1 桁の時間の前に 0 を付けて 2 桁で表示	08
h	1 桁の時間の前に 0 を付けずに表示	8
HH	1 桁の時間の前に 0 を付けて 2 桁で表示 (24 時間制)	20
H	1 桁の時間の前に 0 を付けずに表示 (24 時間制)	20
mm	1 桁の分の前に 0 を付けて 2 桁で表示	03
m	1 桁の分の前に 0 を付けずに表示	3
ss	1 桁の秒の前に 0 を付けて 2 桁で表示	06
s	1 桁の秒の前に 0 を付けずに表示	6
am/pm AM/PM	午前 (AM) と 午後 (PM) を 大文字で表示	PM

## 練習問題

- 残りの日付もフィールドコードを編集して図のように表示しましょう。

日付の書式	
短い西暦	1970/5/7
長い西暦	1970年5月7日
短い和暦	S45.5.7
長い和暦	昭和45年5月7日

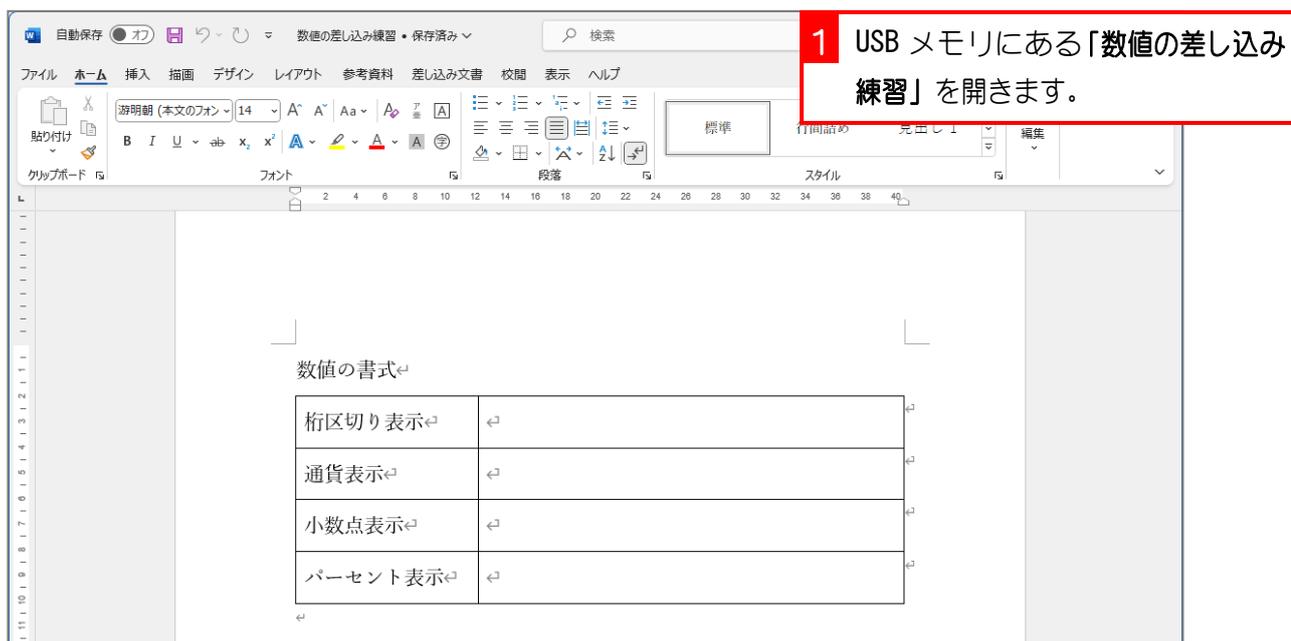
- USB メモリに「日付の差し込み練習フィールドコードの変更」という名前で保存し、ファイルを閉じましょう。

### ヒント

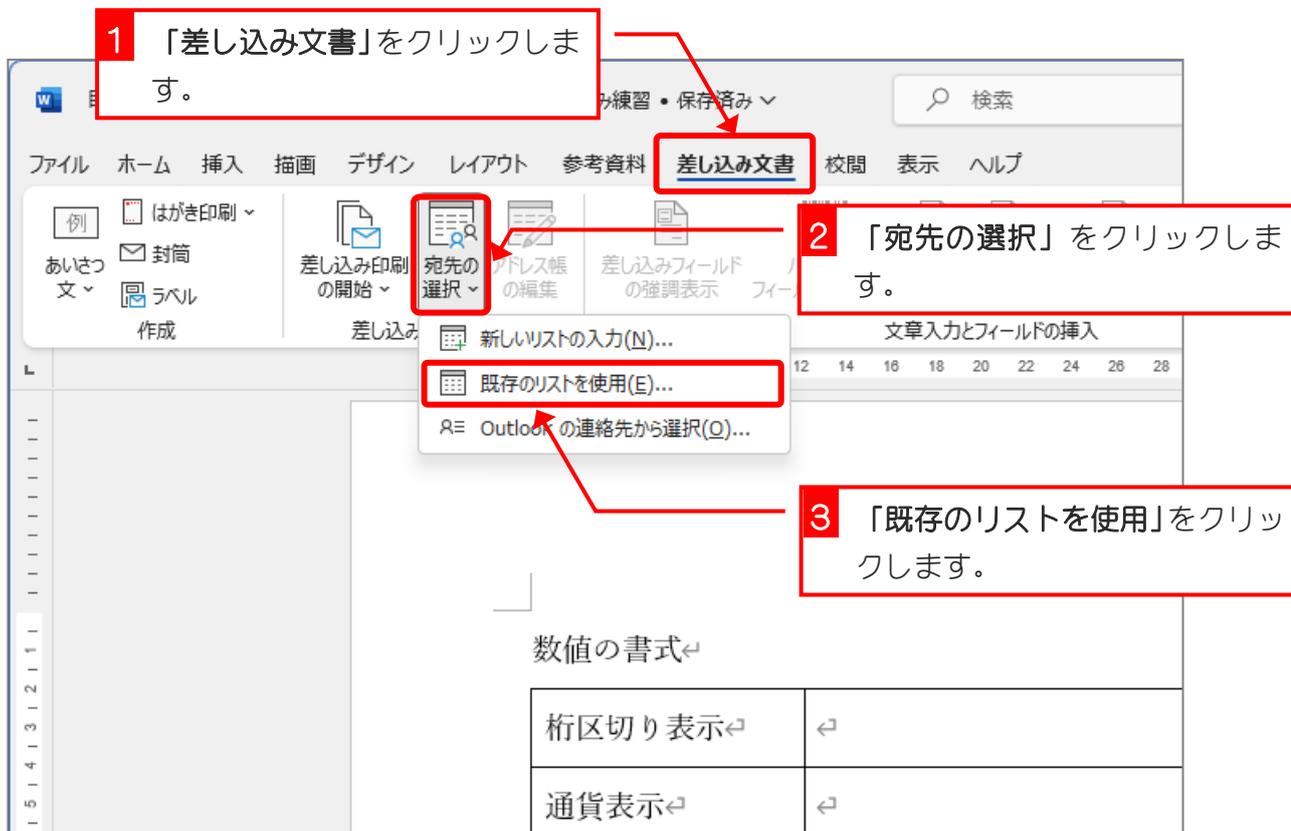
日付の書式	
短い西暦	{ MERGEFIELD · 短い西暦 · \@ "yyyy/M/d" }
長い西暦	{ MERGEFIELD · 長い西暦 · \@ "yyyy 年 M 月 d 日" }
短い和暦	{ MERGEFIELD · 短い和暦 · \@ "ge.M.d" }
長い和暦	{ MERGEFIELD · 長い和暦 · \@ "ggge 年 M 月 d 日" }

「Alt」キーを押しながら「F9」キーを押すと、全てのフィールドコードを表示することができます。

## 2. 「数値の差し込み練習」を開きましょう



## 3. USB メモリの「数値の書式」をリストに指定しましょう



4 「USB ドライブ」をクリックします。

5 「数値の書式」をクリックします。

6 「開く」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

数値の書式にはこのようなデータが入っています。

	A	B	C	D	E	F
1	桁区切り表示	通貨表示	小数点表示	パーセント表示		
2	1,200	¥1,200	0.123	12.3%		
3	13,500	¥13,500	0.056	5.6%		
4	148,000	¥148,000	0.892	89.2%		
5	2,510,000	¥2,510,000	0.510	51.0%		
6	36,850,000	¥36,850,000	0.398	39.8%		
7	5,210,000	¥5,210,000	1.023	102.3%		
8						

## 4. 表の中に差し込みデータを配置しましょう

1 差し込みフィールドを挿入します。

数値の書式

桁区切り表示	「桁区切り表示」
通貨表示	「通貨表示」
小数点表示	「小数点表示」
パーセント表示	「パーセント表示」

## 5. 差し込みの結果を確認しましょう

1 「結果のプレビュー」で確認します。

数値の書式

桁区切り表示	1200
通貨表示	1200
小数点表示	0.123
パーセント表示	0.123

数値が表示されましたが、Excel で設定した書式が反映されていません。

## 6. フィールドコードを表示しましょう

1 「Alt」キーを押しながら「F9」キーを押します。

フィールドコードが表示されました。

数値の書式	
桁区切り表示	MERGEFIELD・桁区切り表示
通貨表示	MERGEFIELD・通貨表示
小数点表示	MERGEFIELD・小数点表示
パーセント表示	MERGEFIELD・パーセント表示

「Alt」キーを押しながら「F9」キーを押すと全てのフィールドコードが表示されます。

## 7. 3桁区切りの表示に変更しましょう

1 フィールド名の後ろのスペースに続けて半角で「¥#」と入力します。

数値の書式	
桁区切り表示	MERGEFIELD・桁区切り表示 ¥#
通貨表示	MERGEFIELD・通貨表示
小数点表示	MERGEFIELD・小数点表示
パーセント表示	MERGEFIELD・パーセント表示

¥#  
は数値の表示形式を設定するためのスイッチです。

2 続けて半角で「”,#」と入力します。

数値の書式

桁区切り表示	MERGEFIELD 桁区切り表示 ¥#, #
通貨表示	MERGEFIELD 通貨表示
小数点表示	MERGEFIELD 小数点表示
パーセント表示	MERGEFIELD

”,#” または ”,0”  
 は数値を 3 桁区切りの形で表示するための文字列です。今回の例の場合はダブルクォーテーション (”) で囲む必要はありません。また、「,」と「#」の順番を変えて”#, ”としてもかまいません。

3 フィールドコードの上で右クリックします。

数値の書式

桁区切り表示	M	¥#, #
通貨表示	M	
小数点表示	M	
パーセント表示	M	

メニューの検索

- 切り取り(I)
- コピー(C)
- 貼り付けのオプション:
- フィールド更新(U)**
- フィールドの編集(E)...
- フィールドコードの表示/非表示...
- A フォント(E)...
- 段落(P)...
- 記号と特殊文字(S)

4 「フィールドの更新」をクリックします。